

ほっとメール

神奈川みなみ医療生協
2024年4月17日



組織部



第577号



物価高騰に対応した

支援金の支給を求めて要請。



一昨年から電気・ガス代や食料品を中心に物価高騰が続いていますが、2024年1月から5月までに食品メーカーで値上げになる商品は4,556品目、値上げ率の平均は17%にのぼっています。4月からは東京ガスなど大手都市ガス会社によるガス代の値上げが、5月からは東京電力など大手電力会社による電気代の値上げが予定されています。

この間の物価高騰は、町民の生活に大きな影響を与えていますが、高齢者施設や障害者施設等では、費用支出の増大により経営の悪化を招いています。そこで、4月12日(金)に葉山町へ以下の要請を行いました。



昨年度と同様に2024年度も「葉山町高齢者・障害者施設等物価高騰対策支援金」を支給すること。



要請に応じた福祉課の課長は、「物価高騰が続いていることは認識している」「国や県が予算化しないなかで、町が単独で支援金を支給するのは難しい」と回答しました。

そこで、「2年前から物価は上がり続けているが、事業所は利用料に転嫁せずに頑張っている、何らかの財政支援が欲しい」「補正予算で検討できないか」と重ねて要望しました。これに対して、課長は、「国や県の動向を見極めたうえで判断する」「支給するとなれば補正予算で組むことになるだろう」と回答するにとどまりました。

最後に支援金の支給については、県を通して国にも働きかけて欲しいと要望し、懇談を終りました。なお、この懇談には近藤昇一町議と窪田美樹町議が同席しました。

*各事業所の取り組みをお寄せください。ニュースで紹介させていただきます。 h-sosiki@k-minami.or.jp